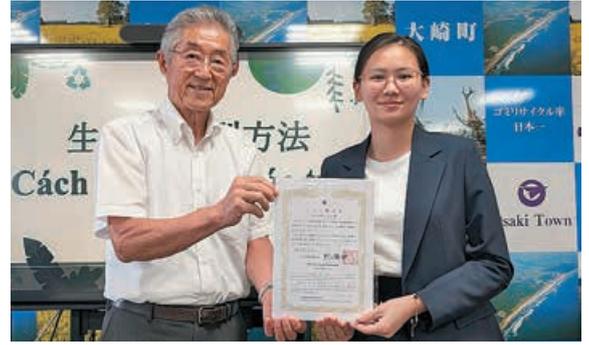




新たに3名の国際交流員を招へい！

大崎町では新たに3名の国際交流員を任用いたしました。左からメルカド ミア フィエルさん(フィリピン)、インタン プトリ イスワントさん(インドネシア)、ファム フォン リンさん(ベトナム)です。国際交流員は、学校やサロンなどを通じた国際交流の推進、役場窓口での通訳対応、町内在住外国人向け情報の翻訳・発信、ごみの分別などの生活情報や日本で生活する上で必要な情報を発信するYouTubeの作成などをおこなう予定です。今後の活躍をぜひお楽しみください。



JETプログラム絆任命式がおこなわれました。

令和6年8月から大崎町で国際交流員として活動していただいたベトナム出身のグエン ゴック アインさんが、任期満了に伴い退任されました。これに合わせて、退任後も本町と母国の友好関係を築いていただくための「JETプログラム絆大使」任命式がおこなわれました。

アインさんには1年間、本町とベトナムの国際交流の推進、共生社会の構築に多大なるご尽力をいただきました。ありがとうございました。



マンガ教室

8月9日(土)に町中央公民館にて、大崎町青少年活動事業の一環で漫画家のあさごはんさん、はるるさん、うなぎ☆のぼるさん(荒佐野の歴史を題材とした漫画「不屈の魂」を制作した3名)を講師として招き、小・中学生を対象とした大崎町マンガ道場が開催され27名が参加しました。

マンガ作りの知識や進め方などを学びながら、自分でストーリーを考え、漫画を描くというもので、参加した大崎小学校4年生の岩切結音さんは「分からないことをたくさん学べて、専門用語とか知れたから、家でもやってみたいです」と感想を話してくれました。



企業版ふるさと納税

8月5日(火)、本町が実施するSDGs推進事業に対して、鹿児島プロフーズ株式会社から企業版ふるさと納税を活用した寄付をいただき、町が感謝状を贈呈しました。

鹿児島プロフーズ株式会社は、工場等から出る不可食残渣(どうしても食べられずに残ってしまう骨や内臓、血液、脂肪など)を配合飼料やペットフードの原料として再生する事業をおこなっています。いただきました寄付については、本町のSDGsの推進に活用させていただきます。